

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-1
事業名	トップアスリートとの交流事業			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	スポーツや生涯学習活動への興味・関心を図るために、トップアスリートやプロの世界に触れ技術や迫力を体感する機会を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	2,514	2,519	△ 5	部	経常増減の部
自主事業収益	200	225	△ 25	大	事業費
自主財源	367	346	21	中	3号事業費
区補助金(人件費)	1,947	1,948	△ 1	種別	自主事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 試合観戦・招待 プロスポーツ公式戦等の区民優先招待、割引き価格での観戦周知を行う。
- (2) スポーツ教室・体験会 プロまたはトップクラスのプレイヤーまたはOB、指導者による教室、体験会を実施する。
- (3) その他、プロスポーツを体感できるプログラムを提供する。
- (4) 公式戦開催への協力要請を行う。

2 成果指標

延べ参加者数 前年度の2%増
(前年度実績: 2,915人)

3 実施上の課題

- (1) 既協力団体との連携強化と新たな企画を実施していく。同種目連携先を確保していく。
- (2) 幅広い年齢層が参加できるプログラムを開発していく。
- (3) 事業の継続性を考慮した新規連携先の選定と交渉を行う。
- (4) 各事業を集束した、総合的な認知度の向上を目指す。広報紙、チラシ等における、より効果的な周知スタイルを確立していく。

4 実 績

平成22年度	回数	延参加	平成21年度	回数	延参加
野球公式戦観戦	3	79	野球公式戦観戦	3	338
サッカー公式戦観戦	1	127	サッカー公式戦観戦	1	157
サッカー体験教室	2	85	バスケットボール公式戦観戦	2	19
野球体験教室		震災中止	バレーボール公式戦観戦・体験教室	2	43
一輪車体験教室	1	23	サッカー体験教室	1	51
将棋体験教室	1	47	野球体験教室	1	165
相撲体験	2	1200	将棋体験教室	1	55
炎のストラックアウト(スポレク)	1	289	相撲体験	2	972
キックターゲット(スポレク)	1	443	その他体感(サッカー手つなぎキッズ等)	2	41
スポーツゲムズin新宿	1	177	バレーボール公式戦開催協力	2	1830
その他体感(サッカー手つなぎキッズ等)		445			

5 対前年度予算増減説明 人件費配分算定減による減

根拠法令・規程	スポーツ基本法	事業開始	平成18年度
---------	---------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-2
事業名	区民健康マラソン・ 新宿シティハーフマラソン			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	事業規模の変更
目 的	「健康推進都市新宿」を区内外へ積極的に発信するとともに、子どもから高齢者、障がい者が「だれでも」気軽に集い、楽しめる場を提供するため、区民をはじめ、多くの人に親しまれる市民マラソンを実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	14,670	24,655	△ 9,985	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費
自主財源	0	10,000	△ 10,000	中	3号事業費
区補助金	6,080	6,080	0	種別	自主・補助
区補助金(人件費)	8,590	8,575	15		

事業の計画

1 実施内容(予定)

平成25年1月27日(日)

国立競技場、外苑周道路、外苑東通り、新宿通り、明治通り、外苑西通り、ほか

- (1) 国立競技場・公道…区民健康マラソンの部「3km(中学男女、一般男女)、2km(小学校1～3年男女、小学校4～6年男女、ファミリー、ファンラン)、ひよこ(42.195m、スペシャルラン(300m))」、新宿シティハーフマラソンの部「ハーフマラソン(一般男女、40歳以上男女、50歳以上男女、60歳以上男女)、10km(一般男女、40歳以上男女、50歳以上男女、60歳以上男女)、国立競技場内トラック・芝生でアトラクションを実施する。
- (2) 明治公園…ステージパフォーマンス、地場産業及び友好都市等による物産・PR、区内企業及び関係団体等による模擬店、ケータリング販売等を実施する。
- (3) その他にも事業を盛り上げる企画を演出し実施する。

2 成果指標

延べ参加者22,500名(マラソン大会参加募集人数10,500名、明治公園ジョイントイベント来場12,000名)
(前年度実績: 22,609名)

3 実施上の課題

- (1) ハーフマラソンのコース拡張に向けた事前調査の実施や関係各署との調整を行う。
- (2) コース拡張に伴う運営体制の見直し、新たな参加者、協賛協力者の獲得をし、経費を確保をする。
- (3) 定員増及び在住者の参加率(特に小学生・中学生の参加率)アップ、募集方法の見直しを行う。
- (4) 集客力や宣伝力といった事業効果を高めるための工夫を行う。
- (5) 交通規制の案内(看板や横断幕)やコース近隣の住民への周知方法、歩行者への対応を行う。

4 実 績

- (1) 第8回大会 申込者数12,443人(ハーフマラソン5,620人、10km3,338人、健康マラソン3,010人、ひよこ433組(866人)明治公園イベント来場者数11,000人)
- (2) 第9回大会 申込者数11,609人(ハーフマラソン5,538人、10km2,745人、健康マラソン2,781人、ひよこ492組(984人)明治公園イベント来場者数11,000人)

5 対前年度予算増減説明

記念大会事業費(予備費)としての自主財源の見直しによる減

根拠法令・規程	スポーツ基本法、社会教育法	事業開始	昭和61年度
---------	---------------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-3
事業名	新宿スポレク			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	スポーツ振興・健康づくり意識の啓発を行い、明るく活力のある地域社会の形成するために、区民が気軽に参加できる多様なスポーツ・レクリエーションの体験イベントの実施する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	3,649	3,298	351	部	経常増減の部
補助事業収益	165	165	0	大	事業費
区補助金	2,314	1,964	350	中	3号事業費
区補助金(人件費)	1,170	1,169	1	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 日時 平成24年10月8日(月・祝) 午前9時30分から午後4時30分(予定) ※雨天決行
- (2) 会場 新宿コズミックセンター、新宿スポーツセンター、大久保スポーツプラザ、戸山多目的運動広場、西戸山公園野球場ほか
- (3) 連携先 新宿区体育協会、新宿区レクリエーション協会ほか区内団体、都内民間企業等
- (4) 来場者 10,000人程度(延べ20,000人程度) 予定
- (5) スケジュール
 - ① 5月下旬:第1回実行委員会(事業説明・企画募集説明・意見交換)
 - ② 7月中旬:第2回実行委員会(リーフレット等広報デザイン決定・企画締切・実施内容発表、調整)
 - ③ 10月上旬:第3回実行委員会(当日のイベント運営について説明・調整)
 - ④ 10月下旬:第4回実行委員会(本年度事業の反省・次年度に向けた課題)

2 成果指標

出展団体50、その他団体・企業30、協賛10 計90団体
(前年度実績: 83団体)

3 実施上の課題

- (1) 区体協・レク協加盟団体、区生涯学習協働ネットワーク登録団体等への新規参画への呼びかけを行う。
- (2) 内容充実のための、新規協賛企業の獲得・新規出展のへの工夫(会場確保)を行う。
- (3) 同時期に開催される大新宿区まつり「ふれあいフェスタ」との同日開催に向けた調整を行う。
- (4) 班分けした上で意見交換を促し、また出展に向けて参考事例のレクチャーを行うなど、実行委員会の進め方を工夫し、参画団体同士のネットワーク形成に繋げる。

4 実 績

- (1) 平成19年度[参加団体]40団体(区内関係団体:24、民間企業:12、協賛企業:4)[参加者]延べ7,309人
- (2) 平成20年度[参加団体]64団体(区内関係団体:32、民間企業:27、協賛企業:5)[参加者]延べ17,773人
- (3) 平成21年度[参加団体]81団体(区内関係団体:33、民間企業:14、協賛企業:34)[参加者]延べ20,105人
- (4) 平成22年度[参加団体]83団体(区内関係団体:32、民間企業:15、協賛企業:36)[参加者]延べ21,842人

5 対前年度予算増減説明

出展団体の増に伴う消耗品費の増

根拠法令・規程	スポーツ基本法	事業開始	昭和59年度
---------	---------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-4
事業名	レガス健康づくり事業			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	区民の健康・体力づくりを支援し、スポーツ活動を身近なものとするために気軽に参加できる環境整備と、継続して健康づくりが実践できる場を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	18,111	17,920	191	部	経常増減の部
自主事業収益	18,552	18,304	248	大	事業費
自主財源	△ 3,174	△ 3,113	△ 61	中	3号事業費
区補助金(人件費)	2,733	2,729	4	種別	自主事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

レガスポ！(スポーツプログラムの提供)

- (1) レガスポ！ 通年講座(全38講座程度) ヨーガ、ピラティスなど人気講座の他、高齢者向け講座を実施する。また、レガスポ!20で人気の高かった講座の通年化を図る。
- (2) レガスポ！ 20(短期講座)
人気講座や話題講座などを導入する。講座数を増やし、幅広いニーズに対応する。
- (3) 出張レガスポ！(コズミックセンターに来館することが困難な方向け)
生涯学習館、大久保スポーツプラザ、新宿文化センター他区内施設にて全4～8講座程度の講座を実施する。一部の講座で託児サービスを提供する。
- (4) 出前レガスポ！(団体等より講座実施の依頼を受託)
団体等の依頼で、講師手配・講座準備・備品貸出し等を実施する。10回×2講座
区内団体等に周知活動を行う。
- (5) 託児サービス(6ヶ月児～未就学児をもつ親)を実施する。 15人×4日/週×45週

2 成果指標

延べ利用者数 53,400人 (前年度実績: 46,111名)

3 実施上の課題

- (1) 参加者増による混雑などで、安全・快適な健康、体力づくりの場が損なわれることがないように施設管理と事業運営との連携を強化し、適切な会場設定や空き施設の柔軟な流用等で参加者ニーズに応える。
- (2) 産前産後や乳幼児を抱える方、高齢者、有職者等、日常的な健康・体力づくりが難しい方でも気軽に参加することができ、継続して参加できるプログラムを提供する。

4 実 績

レガスポ！(スポーツプログラムの提供) 平成22年度実績

- ①レガスポ！ 通年講座(全37講座) 延べ参加者数 40,812人
- ②レガスポ！ 20(全16講座・134回) 延べ参加者数 3,049人
- ③託児サービス 2,178人(通年プログラム2,103人/レガスポ!20 75人)
- ④出張レガスポ!(全2講座 8回) 72人 戸山生涯学習館・北新宿生涯学習館

5 対前年度予算増減説明

消耗品費・諸謝金の増

根拠法令・規程	スポーツ基本法	事業開始	平成12年度
---------	---------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-10
事業名	新宿区体育協会及びNPO法人新宿区レクリエーション協会加盟団体への支援			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	新宿区体育協会及びNPO法人新宿区レクリエーション協会加盟団体の活動を支援することにより、区民のスポーツ活動の振興を図る。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	3,612	3,609	3	部	経常増減の部
補助事業収益	(12,267)	(12,267)	0	大	事業費
区補助金	102	102	0	中	3号事業費
区補助金(人件費)	3,510	3,507	3	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 区体育協会の事務局を財団内に設置し、その事務局運営を支援する。
- (2) 体育協会の加盟団体及びレクリエーション協会の財団管理施設使用について優先的使用や使用料の減免を認めることにより、その活動を支援する。
- (3) 各加盟団体の主催事業について、広報協力等により支援する。
- (4) 任意団体である区体育協会の法人化及び独立について支援する。

2 成果指標

利用者数前年度比1%増 (前年度実績: 57,406名)

3 実施上の課題

- (1) 体育協会法人化の前提条件としての事務局機能の独立について、その方法について研究し、体育協会に提案、検討を促す。
- (2) 各協会へ加盟していない競技について、区内の活動状況を調査し、協会への加盟について支援する。
- (3) 各団体の新規加入者募集について、広報紙等により支援する。また、団体等と連携したスポーツ普及事業等を通じて、加盟団体の活動の活性化を図る。

4 実 績

平成22年度

財団管理施設優先使用団体 27団体 施設利用者数 57,406名

5 対前年度予算増額説明

人件費の単価増に伴う増

根拠法令・規程	社会教育法、スポーツ基本法	事業開始	平成22年度
---------	---------------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-11
事業名	代表選手の派遣			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	各団体の組織強化、地域力の向上を図るために都民大会に新宿区代表選手団として派遣する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	3,056	2,812	244	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費支出
区補助金	1,886	1,643	243	中	3号事業費
区補助金(人件費)	1,170	1,169	1	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)平成24年度都民体育大会結団式を開催する。
- (2)都民体育大会への選手派遣を行う。…第65回春季大会、第66回夏季大会・冬季大会
- (3)第65回都民体育大会春季大会の開会式・閉会式へ参加する。
- (4)第24回都民スポレクふれあい大会への選手派遣と参加補助費の支払を行う。
- (5)平成24年度都民生涯スポーツ大会への選手派遣と参加補助費の支払を行う。
- (6)第61回東京都ふな釣り・はぜ釣り大会への選手派遣を行う。

2 成果指標

派遣総数 770名 (前年度実績: 713名)

3 実施上の課題

- (1)区体協だけでなく、区レクリエーション協会や各種スポーツ・レクリエーション団体との連携を深め、派遣種目数及び派遣選手数の増を図る。
- (2)大会結果等の財団広報紙やHPへの掲載や成績優秀者の表彰等、代表選手としての意識や意欲の向上につながる方策について検討、実施する。
- (3)各団体への参加費助成のあり方について検討し、改善を図る。

4 実 績

平成22年度

派遣総人数713人、派遣種目数49種目
 都民体育大会…第63回春季大会349人、第64回夏季大会35人、第64回冬季大会30人
 第59回東京都ふな釣り大会7人 第59回東京都はぜ釣り大会6人
 都民生涯スポーツ大会161人 第22回都民スポレクふれあい大会125人

5 対前年度予算増減説明

派遣人数の増に伴う諸謝金の増

根拠法令・規定	社会教育法、スポーツ基本法	事業開始	昭和46年度
---------	---------------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-12-(1)
事業名	区民スポーツ大会 (1)区民総合体育大会			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	健康や体力の増進を図るとともに、大会を通して住民の親睦と交流を図るために、スポーツを愛好する区民の活動成果を発表する機会を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	10,654	10,730	△ 76	部	経常増減の部
補助事業収益	1,509	1,509	0	大	事業費
区補助金	7,582	7,661	△ 79	中	3号事業費
区補助金(人件費)	1,563	1,560	3	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 大会期間
 - ① 総合開会式 平成24年9月2日(日)
 - ② 大会期間 5月～平成25年1月
- (2) 実施競技
一般の部30競技、中学生の部10競技、小学生の部1競技
- (3) 参加料
 - ① 個人競技 200円
 - ② ペア競技 400円
 - ③ 団体競技 15名以上登録競技2,000円、5名前後登録競技1,000円

2 成果指標

参加者数の増。 参加者数13,150人（前年度実績：12,299名 41競技）
競技種目41競技

3 実施上の課題

- (1) 小・中学生種目および障がい者種目の実施について、実態を調査し、区民総合体育大会としての実施について競技団体との協議を進める。
- (2) 区民総合体育大会への小・中学生大会の一部統合について関係団体と協議・調整を進める。

4 実 績

年度	参加者数	一般の部	中学生の部	小学生の部	総合開会式
22年度	12,299名	30競技 9,497名	10競技 2,746名	1競技 43	352
21年度	12,013名	29競技 9,560名	10競技 2,453名		344
20年度	12,603名	28競技 9,855名	10競技 2,746名		358

5 対前年度予算増減説明

新規実施種目見直しに伴う委託料の減

根拠法令・規程	社会教育法、スポーツ基本法	事業開始	昭和41年度
---------	---------------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-12-(2)
事業名	区民スポーツ大会 (2)小・中学生大会			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	小・中学生に、スポーツ・学習活動を継続する意欲を高め、健康増進と体力・知力の向上を図るために小・中学生大会を実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	2,414	2,413	1	部	経常増減の部
補助事業収益	141	141	0	大	事業費
区補助金	1,103	1,103	0	中	3号事業費
区補助金(人件費)	1,170	1,169	1	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 小学生野球・女子ソフトボール大会
規模 1部(小学6年生以下)、2部(小学4年生以下)計45チーム
女子ソフト(女子小学生で構成されたチーム) 5チーム
- (2) 中学生野球大会 7月頃 5日間(チーム数により変動)
規模 18チーム 1チームにつき監督・コーチ・スコアラー各1名、選手11~20名
- (3) 小学生サッカー大会
規模 1部(6年生以下)、2部(5年生以下)、3部(3・4年生) 計50チーム
1チームにつき監督1名、コーチ2名、選手11~20名
- (4) 小学生百人一首大会
規模 区内在住・在学の小学生 100名
- (5) 小学生将棋大会
規模 区内在住・在学の小学生

2 成果指標

参加者数 1,500名 (前年度実績: 1,512名)

3 実施上の課題

- (1) 一部種目を、区民総合体育大会の一部門へ移行する為の調整を進める。
- (2) 頭脳スポーツ、学習系新種目について随時調査し、協力団体を確保する。

4 実 績

平成22年度 1,512名、93チーム

- (1) 小学生野球大会 1部339名/21チーム、2部288名/18チーム、女子ソフト32名/2チーム
- (2) 中学生野球大会 161名/10チーム
- (3) 小学生サッカー大会 1部245名/15チーム、2部243名/16チーム、3部174名/11チーム
- (4) 小学生百人一首大会 30名

5 対前年度予算増減説明

人件費単価増に伴う増

根拠法令・規程	社会教育法、スポーツ基本法	事業開始	昭和53年度
---------	---------------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-12-(3)
事業名	区民スポーツ大会 (3)ニュースポーツ・レクリエーション大会			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	ニュースポーツやレクリエーション種目の継続実施を定着させるとともにまた、スポーツ習慣のない区民や障がいを持つ区民にスポーツにふれる機会を提供するために、ニュースポーツやレクリエーション大会を実施する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	3,408	3,388	20	部	経常増減の部
自主事業収益	332	332	0	大	事業費
区補助金	1,906	1,887	19	中	3号事業費
区補助金(人件費)	1,170	1,169	1	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 第4回新宿トリムマラソンを実施する。
 実施時期: 秋 ※新宿区民陸上競技大会と同日程
 場所: 国立霞ヶ丘競技場および周辺
 定員: 600名
 ※ トリムマラソン・・・ 指定された距離(本事業は2km)を、各自の設定タイムに、より近い時間で走る競技。
- (2) ソフトバレーボール大会(予定)を実施する。
 実施時期: 冬
 場所: 新宿コズミックセンター等
 定員: 100名

2 成果指標

参加者数 1,200名 (前年度実績: 535名)

3 実施上の課題

- (1) トリムマラソンの実施時期、実施方法等について検討し実施する。
- (2) 団体等と連携したスポーツ普及事業と連携し、ニュースポーツの普及を図る。
- (3) ニュースポーツ大会開催へ向けて関係団体と調整・協議を行う。

4 実 績

新宿トリムマラソン
 平成21年度 427名 国立霞ヶ丘競技場及び周辺コース(周囲歩道)
 平成22年度 535名 国立霞ヶ丘競技場及び周辺コース(北側歩道および場内回廊)
 ※21年度はオリンピック招致事業として実施。

5 対前年度予算増減説明

参加者増に伴う消耗品費の増

根拠法令・規程	社会教育法、スポーツ基本法	事業開始	平成22年度
---------	---------------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成		事業・枝事業番号	3-13	
事業名	団体等と連携したスポーツ普及事業			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	スポーツに気軽に取り組む機会を区民に提供し、スポーツ習慣の定着や健康づくりに寄与するために地域団体等と連携しスポーツ教室や大会などの事業を実施する。(上記事業のうち、財団指定管理施設以外を利用した事業)				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	2,281	2,278	3	部	経常増減の部
自主事業収益	267	267	0	大	事業費
自主財源	451	451	0	中	3号事業費
区補助金(人件費)	1,563	1,560	3	種別	自主事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) ローラースケート 3回×20名×1講座
- (2) 小学生陸上競技教室 10回×30名×2講座
- (3) 歩き方講座 5回×30名×1講座
- (4) 健康ウォーキング 毎月1回+特別プログラム2回 計14回
- (5) 夏休みラジオ体操 夏休み期間中、70団体以上で開催
- (6) レクリエーション種目教室
レクリエーション協会関連団体との連携によるニュースポーツ種目を実施
5回×15名×2講座

2 成果指標

実施種目数 6種目(前年度実績: 4種目)

3 実施上の課題

- (1) レクリエーション協会加盟団体との連携により実施された種目は1種目と少ないため、それらの団体等と連携しニュースポーツの認知度向上や普及を目的とした事業を実施する。
- (2) 新しく開始した種目を継続的に実施するために、参加者数の増加を目指し、周知を強化するとともに、他事業との連携により活動成果の発表の場を設ける。

4 実 績

平成22年度 4種目

- (1) わんぱく相撲新宿区大会 350人
- (2) 小学生陸上教室 ①10回講座 254人 ②9回講座 60人
- (3) 健康ウォーキング 14回開催 延参加者398人
- (4) 夏休みラジオ体操 開催団体71団体 延開催日数1,129日 延参加者75,503人

5 対前年度予算増減説明

人件費の単価増に伴う増

根拠法令・規程	社会教育法、スポーツ基本法、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律	事業開始	平成22年度
---------	--	------	--------